

和解の仲介の申立てに当たって

原子力損害賠償紛争解決センター

原子力損害の賠償に関する紛争について、当センターに和解の仲介を申し立てるに当たっては、以下の事項をご確認ください。

申立てに必要な書類について

※ 申立ては、無料です。

当センターへの和解の仲介の申立てには、基本的に、次の書類が必要となります。なお、申立書の受付後、このほかの書類を提出していただくこともあります。

① 申立書（必要部数；3部）

- ・ 部数の内訳は、①被申立人用、②担当の仲介委員用、③当センター保管用です。
- ・ 原本として1部をお作りいただき、残りの2部はそのコピーをしたものでかまいませんが、申立人（代理人による申立ての場合は代理人）の印鑑は、それぞれの申立書に押印してください。

② 証拠書類（必要部数；各3部）

- ・ 部数の内訳は、①と同じです。
- ・ 損害額算定等のために必要な証拠書類（領収書、証明書など）は、全て提出してください。
- ・ 提出していただく書類は、すべて写し（コピーしたもの）でかまいません。なお、後日、原本をお見せいただくこともありますので、ご注意ください。

③ [申立てをする方が法人のとき] 代表者の資格を証する書面（必要部数；1部）

④ [代理人によって申請するとき]

- ・ 弁護士や司法書士（簡裁訴訟代理等関係業務を行うことができる者に限る。）を代理人とするとき 委任状（必要部数；1部）
- ・ その他の方を代理人とするとき 「代理人による申立てをお考えの方へ」をご確認ください。

申立書の書式について

当センターで参考書式を用意していますので、ご活用ください（参考書式の電子データは、当センターのホームページから入手できます。）。

なお、申立書の書式に決まりはありませんので、参考書式をお使いにならなくてもかまいません（例えば、既に東京電力㈱に損害賠償請求等をされている方が、その請求書に書かれたとおりの金額を賠償することについて和解の仲介を申し立てる場合などは、参考書式の1枚目をご利用いただき、参考書式の2枚目以降に記載すべき事項は、東京電力㈱に提出した請求書等の写しを添付していただくことで、これに代えるということでもかまいません。）。

申立書類の提出先・提出方法について

上記申立書類は、原子力損害賠償紛争解決センターの東京事務所に、郵送で提出してください。

なお、ご提出していただいた書類は返却いたしませんので、ご了承ください。

〔申立書類の提出先〕

〒105-0004 東京都港区新橋1-9-6 COI新橋ビル3階

原子力損害賠償紛争解決センター東京事務所 受付担当

和解仲介手続申立書

① 申立日 平成 年 月 日

① 申立日
この申立書をセンターに送付する日を記載してください。

当事者に関する事項				
申立人	本人	ふりがな	生年月日	
		氏名 ② A	年 月 日	
		ふりがな	生年月日	
		氏名 ③ B	年 月 日	
		ふりがな	生年月日	
		氏名	年 月 日	
		氏名	年 月 日	
	住所	現在	〒 ④	⑤
		事故時	〒 ⑥	
		電話番号等	電話 () FAX ()	
代理人	ふりがな	代理人の資格		
	氏名	印		
	住所	〒		
電話番号等	電話 () FAX ()			
	郵便物の送付先(指定通知場所) <input type="checkbox"/> 本人欄記載の現在の住所地 <input type="checkbox"/> 代理人欄記載の住所地 <input checked="" type="checkbox"/> その他()			
被申立人	氏名または法人の名称	東京電力株式会社		
	住所または本店所在地	〒100-8560 東京都千代田区内幸町1-1		
交渉経過の概要 ⑧		受付印(センター使用欄)		
<p>○ これまで被申立人に何らかの損害賠償の請求(一部請求、仮払い含む)を行ったことはありますか</p> <p><input type="checkbox"/> ある 時期:平成 年 月ころ <input type="checkbox"/> ない</p> <p>○ これまで被申立人から、何らかの賠償金を受け取ったことがありますか(一部請求、仮払い含む)</p> <p><input type="checkbox"/> ある 時期:平成 年 月ころ 金額: 円 <input type="checkbox"/> ない</p>				

② 氏名
法人(事業者)が申立てをする際には、「法人の名称」「代表者の資格」「代表者の氏名」をこの欄に記載してください。
例: ▲▲株式会社 代表者代表取締役 ○○○○

③ 申立人が複数人の場合(その1)
ご家族全員分の和解の仲介の申立てをまとめて行うなど、複数人による申立てを1枚の申立書で行う場合には、2段目以降の欄に利用してください。

④ 現在の住所
現在、お住まいの住所を記載してください(ご自宅、避難所、身を寄せている親戚・友人宅などです。)

⑤ 申立人が複数人の場合(その2)
複数人による申立てを行う際、各人の住所が異なる場合には、申立書4枚目の追加記載事項欄を利用して、現在の住所または居所と事故時の住所または居所を記載してください。

⑥ 事故時の住所
平成23年3月11日時点での住所を記載してください。現在の住所と同じ場合には「同上」と記載してください。

⑦ 郵便物の送付先(指定通知場所)
センターからの郵便物を受け取ることができる場所を記載してください。例えば、送付先が本欄記載の現在の住所地と同じであれば、口にチェックをいれてください。

⑧ 交渉経過の概要
該当する項目にチェックをいれてください。
なお、「ある」とした場合であって、それが複数回であるときは、支払いを受けた機会ごとにお書きください。

請求総額 Aにつき〇〇円, Bにつき〇〇円 以下のア～サまでの損害額の合計額を記載してください。		2枚目
和解の仲介を求める事項及び理由 【左側の欄】 申立日現在での損害の総額及びその内容を記載してください。 各損害の種類ごとに証拠資料があるものを添付してください。	紛争の問題点及び交渉経過の概要 【右側の欄】 各項目ごとに、被申立人との話し合いの経過について記載してください。 合意ができない事項(紛争の問題点)についても記載してください。	
ア 検査費用(人) 損害額 申立人Aにつき、〇〇円 検査機関 〇〇病院 検査日時 平成〇〇年〇〇月〇〇日 【内容】平成〇〇年〇月〇日 〇〇から〇〇病院までの往復交通費 〇〇円 〇〇病院での検査費用 〇〇円	【証拠資料の一例】検査費用の領収書、交通費の領収書など 【紛争の問題点及び交渉の経過】	
イ 避難費用 損害額 申立人Aにつき、〇円 申立人Bにつき、〇円 避難場所① 〇〇体育館 避難期間 平成〇〇年〇月〇日 ~ 平成〇〇年〇月〇日まで 避難場所② ××旅館 避難期間 平成〇〇年〇月〇日 ~ 平成〇〇年〇月〇日まで 【内容】 平成〇〇年〇月〇日 〇〇から〇〇までの交通費(ガソリン代)	【証拠資料の一例】交通費の領収書、家財道具移動費用の領収書、宿泊費の領収書など 【紛争の問題点及び交渉の経過】	
ウ 一時立入費用 損害額 申立人Aにつき、〇〇円 【内容】 平成〇〇年〇月〇日 〇〇から〇〇までの交通費 〇〇円 平成〇〇年〇月〇日 〇〇から〇〇までの家財道具移動費 〇〇円	【証拠資料の一例】交通費の領収書、宿泊費の領収書など 【紛争の問題点及び交渉の経過】	
エ 帰宅費用 損害額 申立人Aにつき、〇円 申立人Bにつき、〇円 【内容】 平成〇〇年〇月〇日 〇〇から〇〇までの交通費 〇〇円 平成〇〇年〇月〇日 〇〇から〇〇までの家財道具移動費 〇〇円	【証拠資料の一例】交通費の領収書、家財道具移動費用の領収書など 【紛争の問題点及び交渉の経過】	
オ 生命・身体的損害 損害額 申立人Bにつき、〇〇円 【内容】 〇〇から〇〇病院までの交通費 平成〇〇年〇月〇日、〇〇病院での診療費用 〇〇円 ×月×日、〇〇病院での診療費用 〇〇円 通院費用 〇〇円 × △日(通院日数)	【証拠資料の一例】診断書、医療費用の領収書、診療報酬明細書、交通費の領収書など 【紛争の問題点及び交渉の経過】	

〈2枚目および3枚目の記載要領〉

○各損害の種類ごとに、【証拠資料の一例】を挙げてありますので、証拠資料を用意する際の参考としてください。ここに挙げられているものに限定されるという意味ではありません。東京電力に対して提出した証拠資料と重複しても結構です。

○各欄に書ききれない場合には、4枚目「追加記載事項」に記載してください。

○各損害の詳細を【内容】欄に記載してください。

○これまで東京電力とのやりとりがある場合には「紛争の問題点および交渉の経過の概要」欄に記載してください。

○各損害欄に記載する事項は次のとおりです。なお、各損害に対する基本的な考え方については、「東京電力株式会社福島第一、第二原子力発電所事故による原子力損害の範囲の判定に関する中間指針」(平成23年8月5日原子力損害賠償紛争審査会)を参考にしてください。

【ア 検査費用(人)】
放射線への曝露の有無や、それが健康に及ぼす影響を確認するために検査を受けた場合の病院等での検査費用や、そのために要した交通費等をご記入ください。

【イ 避難費用】
避難指示等により避難を余儀なくされたときの、避難に要した交通費、家財道具の移動費用、宿泊費等をご記入ください。

【ウ 一時立入費用】
市町村が実施する「一時立入り」等に参加するために要した交通費、家財道具の移動費用、除染費用等をご記入ください。

【エ 帰宅費用】
避難指示等の解除等に伴い、自宅に最終的に戻るために要した交通費、家財道具の移動費用等をご記入ください。

【オ 生命・身体的損害】
避難等を余儀なくされたため、傷害を負い、あるいは、治療を要する程度に健康状態が悪化し、または悪化を防止すること等により生じた治療費、薬代、精神的損害等をご記入ください。

3枚目

カ	精神的損害	損害額	申立人Aにつき、〇円 申立人Bにつき、〇円	【証拠資料の一例】避難の場所及び期間・屋内退避の期間などが分かる書面など
【内容】		【紛争の問題点及び交渉の経過】		
〇〇体育館（2ヶ月）〇〇円×2人 ××旅館（4ヶ月）〇〇円×2人				
キ	営業損害	損害額	申立人Aにつき、〇円	【証拠資料の一例】確定申告書、決算書類、伝票類、帳簿類、廃棄費用の領収書、引越し費用、保管費用の領収書など
【内容】		【紛争の問題点及び交渉の経過】		
避難による取引中止に伴う平成〇年〇月〇日から同年〇月〇日までの減収額 〇円 商品廃棄費用等の追加的費用 〇円 支出を免れた費用 ▲▲円				
ク	就労不能等に伴う損害	損害額	申立人Bにつき、〇円	【証拠資料の一例】休業証明書、給与明細、源泉徴収票、所得証明書、内定取消しの旨を記載した書面、解雇理由証明書など
勤務先 〇〇株式会社		【紛争の問題点及び交渉の経過】		
休業期間 平成〇〇年 〇〇月 〇〇日 ~ 現在				
【内容】		【紛争の問題点及び交渉の経過】		
避難先から勤務先への就労が不能となり、退職したことによる給与等の減収分 〇〇円				
ケ	検査費用(物)	損害額	申立人Aにつき、 〇〇円	【証拠資料の一例】検査費用の領収書、交通費の領収書など
【内容】		【紛争の問題点及び交渉の経過】		
平成〇年〇月〇日、〇で〇を検査した際の検査費 〇円 平成〇年〇月〇日、〇で〇を検査したときの運送費 〇円				
コ	財物価値の喪失又は減少等	損害額	〇〇〇円	【証拠資料の一例】伝票等、汚染除去費用の領収書、廃棄処理費用の領収書など
【内容】		【紛争の問題点及び交渉の経過】		
避難により、廃棄を余儀なくされた〇〇の価値 〇〇円×△個、廃棄費用〇〇円				
サ	その他の損害	損害額	〇〇〇〇 円	
【内容】		【紛争の問題点及び交渉の経過】		
風評被害などその他の損害があればご記入ください。				
その他和解の仲介に関し参考となる事項				
〇和解仲介手続の進行に関する希望などがあれば、記載してください。				

【精神的損害】

避難や屋内退避等を余儀なくされたため、正常な日常生活の維持・継続が長期間にわたり著しく阻害されたために生じた精神的損害等をご記入ください。

【営業損害】

事業者において、本件事故に伴い取引先との取引が減少・停止したことにより減少した売上高、これにより負担を免れた仕入れ費用や従業員に対する賃金の額等、およびこれらの差額（損害額）をご記入ください。

【就労不能等に伴う損害】

本件事故により、勤務先が廃業を余儀なくされ、または避難先が勤務先から遠方となったために就労ができなくなった場合等の給与の減収額等をご記入ください。

【検査費用（物）】

商品を含む財物について、放射性物質に曝露しているか否かを検査するための検査費用、運送費等をご記入ください。

【財物価値の喪失又は減少等】

財物について、避難により管理ができなくなったり、放射性物質の曝露により価値が下がったりした場合等の財物の価値喪失額、廃棄費用、除染費用等をご記入ください。

【その他の損害】

風評被害などその他の損害があればご記入ください。また、上記に当てはまらない損害があれば、この欄にご記入ください。